

2026年1月25日 主日礼拝

司 会 ①大枝兄 ②高山兄 ③中村昭兄(加藤姉)
祈 禱
奏 楽

賛 美 聖歌589番「めぐみの高さね」
(花咲く野原のように)(主イエスをほめよ)

使徒信条

聖 書 ① 創世記2章1～7節 (P2)
② マタイによる福音書6章31～34節 (P27)
③ 創世記22章9～14節 (P25)

音 楽 ① 中川雄進兄&久保田豊副牧師
②③ Dance in Grace(サインダンス)

メッセージ ① 「『生命』と『土』は人には作れない」 森屋幹副牧師
② 「ここにいるのは、すばらしいこと」 小山英児教育牧師
③ 「主の山に備えあり」 大川従道主任牧師

賛 美 「主の山に備えあり」 献金
頌 栄 「シャローム・シャローム」 アーメン
祝 禱

「アブラムの九十九歳の時、主はアブラムに現れて言われた、『わたしは全能の神である。あなたはわたしの前に歩み、全き者であれ。』」(創世記十七の二)

【大和ニュース】

☆本日の礼拝説教者はなんと4人。①森屋師②小山師③大川師④船山師(18:00)

・ 本日、責任役員会(12:30 フェロシップ)、アブラハム会(12:30 3階ロビー)、青年、学生、ヤンチャ! エステル・ルツ合同集会(12:30 森) ・CBS(石黒師 14:00)

* 今週の祈禱会は、特別講師。水夜と木朝。説教は菅原岳先生(グレイスカルバリーつくし野)。

* CBS(火曜は森屋師、木曜は小林師、金曜は小山師)。木曜は婦人リーダー会、ヌイヌイ。

・ 土曜日は花盛り、会堂掃除(12:00)、聖歌隊(13:30)。“喜びをもって主に仕えよ!”

* 主日礼拝人数 ①90人(200) ②202人(180) ③281人(256) ④46人=1255人

定例祈禱会 水曜67人(160) 木曜121人(68)=416人 ※()内はYouTubeのライブ人数

石の枕

「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだのである。そして、あなたがたを立てた。それは、あなたがたが行って実をむすび、その実がいつまでも残るためであり、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものはなんでも、父が与えて下さるためである。」(ヨハネ15の16)

この聖言葉は、私の人生を決定的に献身の生涯へと導いてくれた。13才の11月6日のこと。静岡ホーリネス教会の中学生集会で、実兄(現在アメリカで牧師をしている。)がメッセージをしたとき、聖霊様の大きな力に動かされて、大泣きしながら悔い改めし、救いの恵みをいただき、その感動の中でこの身をお献げした。あれから71年もたつが、一度も献身の決意がゆるぐことなく今日をむかえている。(だれもない夜、泉チャペルの真ん中で、大声で主に感謝し、大声で主を賛美し、聖霊充満で帰宅する。超幸せな時間！)

高校受験に失敗して、東京の聖学院高校に入学。ミッションスクールの真ん中で、水を得た魚のように、毎日の礼拝のご奉仕、超一流の宗教音楽家のもとで、勿論無料で賛美指導を受け、指揮法も身につけた。

突然の変化のため、制服もネクタイもなく、超貧しい生活が始まった。しかし、当時天才といわれた千代崎牧師のもと、その尾久教会の6帖2間の礼拝堂で寝起きをし、早天祈禱会、礼拝、伝道会、路傍伝道のすべてに出席し、日曜学校では、15才の私は超人気教師で100人ももの小学生が集まって来た。

受験の失敗で、前途はまっ暗だったが、主に在りて、日本一の霊的環境。でも毎日バイトの連続。メッキ工場では手はボロボロ？家庭教師もやった。夕食にはその社長宅で豪華な食事。牧師家庭では見たこともない食事だった。

鉄クズひろいもした。血液も売りに行ったり、底辺生活であったが、ふりかえると牧師になるために、追い込まれた最善の生活。これらが、牧師生活55年で、どんなにつらくても貧しくても、妻の助けによって生きのびることができた。書くことは、自伝ができるくらい、いろいろのエピソードがあるが、まさに、マイナスはプラスの人生でした。イエス様に感謝！皆様に感謝！！(来週につづく)

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
Aコース:マタイ18章～21章 Bコース:出エジプト記9章～26章